

# 女子バレーボール部

キャッチフレーズ	<b>自ら考え、格調高いバレーを</b>
最近の戦績	<u>2006(平成18)年度 長野県高校総体県大会出場</u>
監督	中島 秀明 野村一寿
指導方針	みんなで協力し合い思いやりのあるプレーができるように。 目標を常に持ち、向上心と自求力を持ってバレーに取り組む。 毎日の生活をきちんとする。学校生活の上にバレーがある。
練習環境	平日 16:00~18:30 週1回off 休日 通常は半日 (内容:通常練習,練習試合,大会参加など)

## 【東高女子バレー部の歩み】

日本にバレーボールが紹介されたのが1908(明41)年。1927(昭2)年に日本バレーボール協会が設立され、戦後1947(昭22)年に国際バレーボール連盟が創設された。東高のバレーはいつ創部されたのか今のところ不明であるが、その1947年にはすでに校内でバレーを楽しんでいたことが記録されている。この年の秋から指導者がつき、1948(昭23)年にチームとして練習が開始された。その成果が実り早くも翌1949(昭24)年には第4回国体全国大会出場を果たした。以降、全国大会出場常連校となるが、特に1954(昭29)年の第9回国体、1957(昭32)年の第12回国体は全国3位という輝かしい戦績を納めている。また、1959(昭34)年度卒業の渋木綾乃は、東京オリンピック(1964:昭39年開催)女子バレーボールで優勝、金メダリストとなっている。

各種バレー大会の全国大会へ幾度となく出場しているが、現在は1979(昭54)年3月の第10回春高バレー全国大会出場を最後に、私学優勢の中、およそ30年間全国から遠ざかっている。



<女子バレー部卒業の教育実習生(大学4年生)とのコマ>